



# シングル女性農業者の リプロダクティブ・ライツと 地域活性化



日時

2026年  
6月22日(月)  
18:00~19:30

場所

池袋キャンパス  
10号館 X301教室

申込締切

2026年6月18日(木)

定員

対面60名/ウェビナー500名  
(定員に達し次第、  
申し込みを締め切ります)

講師

長船 亜紀子 氏

立教大学兼任講師。千葉大学大学院人交公共学所博士後期課程修了。博士(学術)。  
専門は、ジェンダー論、家族社会学、地域社会学。

主な論文として、  
「シングル女性農業者のキャリアと家族形成—青森県津軽地方の経営主の事例」  
(['家族研究年報』Vol.46、2021年)、  
「業的労働の歴史的変遷と位置づけ—客室乗務員の事例から」  
(['女性歴史文化研究所紀要』第34号、2025年) など。

申込方法



右のQRコードまたは  
申し込みフォームから  
お申し込みください。



申し込みフォーム：  
<https://s.rikkyo.ac.jp/bv0zy6am>

近年、話題となった「令和のコメ騒動」に象徴されるように、米価や流通をめぐる混乱は、農業の持続性や担い手不足の問題をあらためて浮き彫りにした。農林水産省は2013年から「農業女子プロジェクト」を立ち上げ、若手女性の就農を推進している。その背景には、農村地域が抱える過疎化や少子高齢化といった課題を同時に解決しようと、「子育て世代」と位置づけられる女性を農業・農村へ呼び込む地域活性化施策の存在がある。

そこで本セッションでは、家族経営と親族継承を基盤としてきた農業のなかで、女性農業者に課されてきた再生産役割に着目し、とりわけこれまで等閑視されてきた結婚や出産をめぐるリプロダクティブ・ライツの実態を検証したい。

